

川崎市看護協会

Kawasaki Nursing Association NEWS ニュース

Vol.108

会員数 3,587人
(令和5年2月1日現在)

CONTENTS

- 川崎市看護協会の災害時看護の取組…………… 2・3
災害・救護特別委員会の取組
市民向け普及啓発
- 委員会活動報告…………… 4
教育委員会・労働環境改善推進委員会
- 研修会報告「認知症を持つ人の看護」…………… 5
- 協会の事業紹介「プレパパ・プレママ教室」…………… 5
- 事務局からのお知らせ…………… 6



〒211-0067 川崎市中原区今井上町 1-34 和田ビル 3F
TEL.044-711-3995 <https://www.kawa-kango.jp/>
FAX.044-711-5103 E-mail:mail1@kawa-kango.jp



会長ご挨拶



会長
堀田 彰恵

令和5年度を迎えるにあたりご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症パンデミックに翻弄されたこの3年間ですが、感染症法上の位置づけが2類から5類に変更されるなど、様相が変わってまいりました。看護職の皆様は、言葉に尽くせぬご苦勞をされたことと思います。改めて皆様の使命感と勇気に対し、心からの敬意と謝意を表します。

さて、私が川崎市看護協会の会長に就任して、約1年10か月が経ちました。当協会を立ち上げ運営してこられた諸先輩の情熱を引き継ぎ、さらなる発展を目指して「市にある看護協会」の意義を探求する日々です。

看護職と市民に身近な看護協会として、看護人材の確保や質の向上に向けた研修開催等の取組、災害時の看護支援体制の構築、在宅療養推進の取組、プレパパ・プレママ教室のWEBハイブリッドによる実施など、従前からの取組を充実し、さらに、令和4年度からは、川崎市休日(夜間)急患診療所の看護管理業務の受託、川崎市立看護大学との連携、医工看連携によるCHANGEプロジェクト*への参画、等々、地域の中で連携を深めながら取組を進めてまいりました。

各常任委員会・特別委員会も協会ニュースでご報告してきた通り、協会の理念や方針に基づき新たな取組を積極的に検討していただいています。

こうした取組の充実を図る一方で、市内でも先駆的に訪問看護事業に取り組んできた、協会立の「かわさき南部訪問看護ステーション」を残念ながら3月末で閉所しました。今後は、3つの訪問看護ステーションの安定的運営を図りながら、地域包括ケア推進に向けて市内の訪問看護ステーション全体への支援の充実を図ってまいります。また、昨年度予算要望した学校への訪問看護委託単価引き上げや訪問看護師の病院実習受け入れなどを令和5年度に実現することになりました。

皆様の声から、看護職が働く環境や療養者を取りまく課題を把握し、解決に向けた対応を進めることが当協会の重要な役割です。これからも、看護職と看護の対象となる全ての人々の命が輝く社会を目指して、川崎市の看護の力を結集し、よりよい未来の実現に貢献していきましょう。

一人でも多くの看護職が、協会の仲間になっていただければ幸いです。

*CHANGEプロジェクトとは

文部科学省/JSTによる「共創の場形成支援プログラム」に採択された、川崎市産業振興財団ナノ医療イノベーションセンターを中核拠点とした「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠点」の呼称です。

お知らせ

フロンターレ ホームゲーム観戦ペアチケットプレゼント申込受付中

ただ今、第3弾(5月~7月のゲーム)の申込受付中! 4月25日締め切りです、お急ぎください!

こちらから



今回は川崎フロンターレの開幕試合にご招待いただきありがとうございました。
私はサッカーにはあまり関心を持ったことがなく、試合の観戦自体も初めてでしたが選手の頑張りに感動しました。川崎フロンターレは病院の子供たちを慰問されたり、私たちではおよばない患者様の力になっていただいていますのでこれからも応援していきたいです。試合は残念ながら負けてしまいましたが、このような機会をいただきありがとうございました!

(帝京大学医学部附属溝口病院 平野莉子)





川崎市看護協会の災害時看護の取組



目指せ100人

「災害時看護支援ボランティアナース養成講座」

10月25日(火)



受講者:29名 (保健師・助産師・看護師・准看護師)

出版委員会委員 志民明(日本医科大学武蔵小杉病院)・八木下泰弘(日本鋼管病院)

今回、災害時看護支援ボランティアナース養成講座を受講して、様々な職種の方々が参加していることに驚き、やはり災害が多い日本において皆様の関心があるところなのだと感じました。そして、参加されている方々の思いを聞くと、災害がわが身に起こった場合に自分自身や家族がどのように行動を起こせばいいのか、また、日本中で大きな災害が起こった際に何かできることはないのかという熱い思いを抱いていらっしゃる方が多かったように思いました。

講義の中では、被災地に行かれた川崎市立多摩病院の馬野さんや、新百合ヶ丘総合病院の救急センター長である伊藤先生から、東日本大震災や熊本地震の被災地での活動内容や実際に感じたことなどを聞くことができました。

ボランティアナースとなるためには心構えも必要ですが、一人でも多くのボランティアナースを必要としている被災者の方々のために、私もその一人になりたいと強く感じ、今回ボランティアナースに登録することを決意しました。また、今後も看護協会ではボランティアナースの募集を続けていきますので一人でも多くの方が登録していただければいいと思います。

<?災害時看護支援ボランティアナースって なあに?>

川崎市からの要請に基づいて、川崎市医師会を中心に編成された医療救護班に加わり、災害時に看護支援活動を行うため川崎市看護協会に登録された看護職のことです。

<登録の要件>

看護職の免許を有する方(保健師・助産師・看護師・准看護師)

- ・川崎市看護協会が主催する災害時看護支援ボランティアナース養成講座を受講した方
- ・災害時に指定の医療救護所に参集できる方・災害時医療救護班の活動に協力できる方



災害・救護特別委員会の取組



「災害時看護支援ボランティアナース フォロー研修会」年に1回開催しています!

12月6日(火)

受講者:25名

避難所を場面設定し、カードを使って避難所巡回型医療救護班での相談支援活動をイメージするトレーニングを行いました。

「カードの机上訓練は、日頃の業務にも活かされる」「自分のすべきことが少しわかった」「何かしてあげるのではなく、自助ができる視点も大切」などの感想がありました。



この研修の様子を「令和4年度看護研究・活動報告会」で、高橋さなえ看護師が報告をしました! 詳しくはP4に掲載!

市民向け普及啓発

「備えるフェスタ2023」に参加

～川崎市主催 防災フェスタ～

ラゾーナ川崎： 2月18日(土)

私たちは、手洗いチェッカーを利用して、水が使えない時のウェットティッシュによる手洗い方法の指導、ポスターや段ボールトイレの展示などを行いました。「看護協会」という旗が安心感をもたらすのか声掛けに応じ参加者が吸い込まれるようにブースに入ってこられており、ボランティアナースの方々の工夫や優しい指導により老若男女が参加し、手洗いチェッカーを興味深く覗かれていました。このフェスタへの参加は、看護の視点での防災を意識するとともに、ボランティアナース間の交流が持て、とても意義のあることだと感じました。防災啓発冊子・備蓄品の配布など各団体が専門的な知識を生かした啓発活動を行っており、はしご車や起震車、応急給水などの体験型ブースも賑わっていました。

災害・救護特別委員会委員 長谷川幸子（はせがわ母子相談室）



ワークショップ「停電・断水時に想定される状況と対策」



大好評!

市民の方々の書いた付箋でいっぱいになりました!

市民向け普及啓発

中原区の総合防災訓練に参加しました! 下小田中小学校： 10月25日(火)

災害・救護特別委員会担当理事 ボランティアナース4名



減災ナースが考えた避難用持ち出しリュックの紹介

家族4人(大人2人と子ども2人)の3日分の食料・水等を詰めたバッグを参加した市民の方々が実際に持って、想像以上に重いことを体験してもらい、小学生以上なら自分用リュックを作ったり、食料は軽い物を選ぶなど考えてもらうことができました。また、栄養バランスを考え一日分ごとにパッキングする詰め方や子どもの年齢に応じた玩具や甘いお菓子も入れておくなど、心身両面の健康を考えた内容に関心が寄せられました。

初開催

「災害時看護支援ボランティアナース交流会」

～平時から顔が見える関係づくり～

2月8日(水)

当委員会では今年度初の試みとして、ボランティアナースの交流会を企画しました。平時から近隣のボランティアナースが「顔見知り」になることが企画の大きな目的です。

交流会は近隣地域ごとのグループで進行。前半は川崎市透析災害対策協議会(KDD)*の矢尾医師と星看護師より、災害時の透析医療体制と透析患者への看護について貴重な講義を受けました。後半は災害支援看護活動の経験がある看護師をファシリテーターとして迎え、災害時だけでなく平時からボランティアナースとしてできること、地域の減災活動情報について情報交換が活発におこなわれていました。

初開催とは思えないほど盛り上がり、有意義な交流会となりました。

災害・救護特別委員会委員長 柿崎祐子(帝京大学老人保健センター)



平時の活動をみんなで考えました。

* KDDの取組について：平成30年度に、災害時の市内透析施設並びに透析医療の円滑な運営を目的に、相互互助組織として、市内透析施設による協議会が設立され、各施設の医師や看護師、臨床工学技士などで構成された会員が中心となって、災害対策会議や訓練など必要な事業や活動を行っています。

委員会活動報告 1

教育委員会

～学びや気づきを市内の看護の仲間へ向けて発信しよう！～

会場とZOOMのハイブリッド開催!

「令和4年度 看護研究・活動報告会」を開催 2月21日(火)

講評:川崎市立看護大学 岩瀬 和恵 先生 参加者56名

今年度の看護研究・活動報告会はハイブリッドでの開催となりました。運営上の課題が少し残りましたが、無事、看護研究12演題と活動報告8演題の発表を行うことが出来ました。どの演題も、日頃から患者様としっかり向き合い、患者様の立場に立って看護されているからこそ、生み出されたテーマでした。

コロナ禍での看護の現場は、未だに繁忙な状況が続いており、そのような状況で発表に至るには大変な労力が必要だったと思います。研究者の皆様には敬意を表します。川崎市看護大学の岩瀬和恵先生から、丁寧でとても分かりやすいご講評を頂き、次の研究や看護に繋がるヒントが導き出されました。

また、活動報告では取組の評価や実態調査から課題が明確となり、改善に向けて検討された対策も含め報告されており、大変参考になりました。

発表者・参加者ともに看護の現場で取り組んだ成果を共有できる意義のある時間となりました。

教育委員会委員長 石渡理恵 (総合高津中央病院)



演題	発表者	所属
新型コロナウイルスによる面会制限下での終末期へ向かうがん患者の意思決定を支える支援	伊東美帆	川崎市立立田病院
混合病棟で感じたコロナ禍での思い	菅野沙希	日本鋼管病院
COVID-19 腹臥位管理患者のMDRPU 発生要因	吉田優作	川崎市立川崎病院
術前訪問ファイルの効果	佐久周仁美	川崎市立川崎病院
SSI(手術部位感染)対策におけるシャワー洗浄の有効性について	菅野綾華	川崎幸病院
療養病棟における手指衛生の実態	保坂早紀	川崎みどりの病院
低酸素脳症の患者家族への代理意思決定の支援	松橋彩	川崎市立立田病院
前十字靭帯再建術を受ける患者の心理的变化	松崎芽瑠恵	関東労災病院
在宅取り回しパンフレットを渡された家族の心境を知る	楢井清佳	川崎幸クリニック
心臓血管外科病棟に勤務する看護師が抱えるストレスについて	関根梓	川崎幸病院
中途採用者・異動者が求める教育支援に関する実態調査	佐々木照江	川崎市立多摩病院
抜管後、呼吸状態が悪化し急変した事例について	植田咲	川崎市立立田病院
看護業務のタスク・シフトにおける事務職主導の病床管理	田中亜由美	川崎幸病院
発熱外来の柔軟な受け入れ体制の構築	下村由美	たま日吉病院
デイ・パートナーシップを導入して処置を工夫し改善した症例	益田早苗	関東労災病院
ダブルストーマ造設の周術皮膚炎に対し処置を工夫し改善した症例	山山美帆	聖マリ医科大学東横病院
介護施設職員とともに患者中心のケアを考えるための連携	森光子	協同ふじさきクリニック
部署間協働による宮前区オリジナル体操制作の取組	三浦由美	宮前区地域ままもり支援C
川崎市産後ケア事業 実施状況の報告	又不由美	(一社)川崎市助産師会
カードを利用した災害看護机上訓練	高橋さなえ	日本看護協会災害支援ナース(関東労災病院)

委員会活動報告 2

労働環境改善推進委員会

かわさきFM「声の年賀状」に生出演! 1月6日(金)

労働環境改善推進委員会のメンバーと会長が「かわさき FM」の新春恒例番組『声の年賀状』に出演しました。看護の現場の実情と、iCONM と連携して看民工学により、超高齢化社会の医療ニーズに対応するための看護の現場の「あったらいいな」のアイデアを募集し CHANGE プロジェクトに届けていることをお伝えしました。

鈴木委員長のリクエスト曲は、サンボマスターの「輝きだして走ってく」でジョギングしながら聞いて看護の元気 UP をしているんだそうです。



看護の現場の「あったらいいな」で、新人ワークショップ開催 2月3日(金)

フレッシュ感覚の気づきを看民工学に! CHANGEプロジェクトとのコラボ 入職1年目の看護師24名が参加



委員会の声: CHANGEメンバーとコラボ企画することで、「現場の声」や「あったらいいな」が明確化され、看民工学により実現することへの期待が大きくなったと感じています。

「あったらいいな」のアイデアの根本には、患者を思う気持ちがあり、新人ナースがその気持ちを大切にして働き続けられるよう、労働環境をよくしていくことの大切さを改めて感じる機会となりました。

参加者の声: 違う病院だからこそ、話しやすい内容もあると感じました。看護師の悩みが共有され、看民工学に触れることで希望が持てました。

出版委員が受講してみた!
研修紹介

訪問看護師養成講習会

「認知症を持つ人の看護」 10月27日(木)

都筑ハートフルステーション 平田祐子先生 受講者:9名

2025年問題など高齢化が進む今、認知症を持つ人が増え、関わり
の難しさを感じることも多いと思います。知識が少ないことでバー
ンアウトする方も少なくないため、自分の知識を増やすことが大切だ
と思いました。

認知症は「なったら終わりではなく、なってからが勝負」の病気で
あり、長い経過での看護や介護が必要となることを学びました。認知
症は後天的な脳の記憶障害で、記憶・理解力・判断力の低下が生じ
る状態であり、病名ではないと認識することが大切です。以前はボケ
や痴呆等と侮辱的・屈辱的表現がされていましたが2004年に「認
知症」と改められた歴史もあります。

認知力が低下しても過去の記憶からさまざまな可能性のある患者
さんを尊重し、同じ「人」とした関わりが必要です。講義の中で「Aさ
ん認知でしょ」、「Bさんアルツの人」と烙印を押していないか? 「不
穏だった」などの記録をしていませんか?との問いがありました。ど
の施設でもそのような記録や言動はあるのではないのでしょうか? 不穏
とはどのような症状であったのか、事実を具体的に記載することで患
者さんがなぜそのような行動をとったのかアセスメントすることはでき
ません。行動には必ず理由があります。理解力や表現力が低下した
患者さんの訴えに耳を傾けて、患者さんの思いを知り、その人らしく
生きられるように介入することの大切さを改めて実感しました。

出版委員会委員 川向幸乃(関東労災病院)

認知症になっても住み慣れた地域で
自分らしく暮らし続けることを支援す
るためには、看護職の仲間がつながる
ことが大切!



平田先生(中央)と受講者の皆さん

認知症の方の行動には意味があり、
「認知症になっても“できることはたく
さんある”」を念頭に、その人らしさを
大切に対応していくことが大切です。

平田先生
の資料より



「自分らしさ・自分が自分であること (Identity) 」
「結びつき (Attachment) 」
「たずさわること (Occupation) 」
「共にあること (Inclusion) 」
「くつろぎ (Comfort) 」

協会の事業紹介

プレパパ・プレママ教室 土曜日開催

当事者の目線を大切に、どうしたら伝わり
やすいか、スタッフが知恵を絞りながら運営
しています。

コロナ禍で病院等での両親学級が開かれなくなる
中、多くのプレパパ・プレママの希望に応えるため、令和3年9月から
会場参加だけでなくWEB配信とのハイブリットで開催しています。

毎回、100組以上にWEBで参加していただき、来場できな
いWEB参加者にも、経験豊富な助産師さんの暖かいエールが
届くよう、ライブ感を大切にしています。

WEB参加者からは、「やはり会場で受講したかった」とい
う声もありますが、「自宅でリラックスしながら受講できて
よかった」、「会場参加と同じように受講できたのかなと思う」
といった感想もいただいております、特に助産師がテンポ良く
チャットの質問に答えるコーナーが好評です。

令和5年度は会場参加を16組から20組に、回数も8回から10回に
増して開催し、これから出産子育てに臨む皆さんを応援していきます!



教室は初めての出産・育児に向け、今後の赤
ちゃんとの生活が想像しやすいような構成に
なっており、対面・オンラインどちらも具体的
な質問が沢山出ていました。妊娠期からの切れ
目ない支援の重要性を普段の業務から感じてい
るため、妊娠期から赤ちゃんとの生活を考えて
もらう場は重要であると感じました。

出版委員会委員 間船結花
(麻生区役所地域みまもり支援センター)

事務局からのお知らせ

● 役員の立候補について ●

川崎市看護協会定款第24条に基づき、令和5年度通常総会で役員の改選を行ないます。立候補される方は、正会員5名以上の推薦を受け、所定の「立候補届」及び「推薦書」に必要事項を記入の上、令和5年4月20日(木)までに会長に届け出てください。

【改選役員・定数】 理事・14名 【任期】 2年

【基準】 本会の目的に沿って組織の強化・発展を實踐できる方・定められた会議に出席し、積極的に任務を遂行できる方

【問合せ先・担当】 川崎市看護協会 事務局 酒井 TEL044-711-3995



● 令和5年度通常総会 ●

日時：6月22日(木) 9:20～
場所：川崎市ナースセンター研修室

【報告事項】

- ・令和4年度事業報告
- ・令和5年度事業計画・収支予算

【審議事項】

- ・令和4年度収支決算報告及び監査報告
- ・定款の一部改正
- ・入退会及び会費規程の一部改正
- ・理事及び監事の報酬総額並びに役員報酬規程の一部改正
- ・令和5年度役員の選任



● 看護フェスタ in かわさき 2023 ●

～つながろう看護職! 広げよう看護の心!～

日時：5月14日(日) 12:30～15:30

場所：JR 武蔵溝ノ口駅前南北自由通路

内容：進路相談

- まちの保健室
- 防災体験(防災グッズ)
- 救急蘇生体験
- 妊婦体験、育児体験
- その他



● 理事会報告 ●

第5回【令和5年1月13日(金)】

審議事項：

- 令和5年度の取組について
 - 重点事業(案) …… 承認
 - 事業計画(案) …… 継続審議
*業務委員会の「看護プロボノ委員会」への名称変更 …… 承認
 - 組織体制および役員定数
(常務理事2名から1名に減員し、事務局部長職との兼務を解消、次期役員は理事14名とする) …… 承認
 - 看護フェスタ in かわさき 2023(案) …… 承認
- 各種規程類の改正 …… 承認

第6回【令和5年3月10日(金)】

審議事項：

- 令和5年度川崎市看護協会事業計画(案)及び収支予算(案)について …… 承認
- 公益社団法人川崎市看護協会定款及び規程類の一部改正について …… 承認
- 令和5年度川崎市看護協会通常総会(案)について …… 承認
- 常任委員会活動について(今後の方向性と名称変更) …… 承認
- 看護フェスタ in かわさき 2023 について(実施要項) …… 承認

人間工学に基づいた革新的な枕 プレゼントにも大人気

コンフォートピュディー

Comfortpude®

- ◆首のための枕
- ◆ロングセラー商品
- ◆お好みで2つの高さを使い分けられます



お試し
できます

価格20,000円(税込)

東洋羽毛首飾部販売株式会社
南東京営業所

TUK 東洋羽毛

0120-559-070 お問い合わせ、ご注文は、
こちらの二次元コード又はお電話で



協会ニュースへのご意見募集 (アンケートのお願い)

多くの皆様にご覧いただけるニュースにするために、ご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートにお答えいただいた会員の中から抽選で3名の方に1,000円分のクオカードを差し上げます。

こちらから



編集後記

新年度が始まりました。コロナの戦いも落ち着きつつあると思いますが、引き続き体調に気を付けて頑張っていきましょう！ところで今年は桜見られましたか？

出版委員一同